

各位

浦安鐵鋼団地協同組合  
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(2023年3月分)

ご協力ありがとうございました。2023年3月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143社 回答 138社 回答率 96.5%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	35社 25.5% (13.9)	29社 21.2% (19.0)	48社 35.0% (46.7)	19社 13.9% (13.9)	6社 4.4% (6.6)	137社	17社 12.5% (16.3)	16社 11.8% (16.3)	47社 34.6% (34.8)	30社 22.1% (22.2)	26社 19.1% (10.4)	136社
売上高	37社 27.0% (15.3)	26社 19.0% (22.6)	49社 35.8% (42.3)	18社 13.1% (13.9)	7社 5.1% (5.8)	137社	35社 26.1% (32.6)	24社 17.9% (22.2)	37社 27.6% (23.7)	24社 17.9% (15.6)	14社 10.4% (5.9)	134社
在庫数量	7社 5.3% (3.8)	27社 20.6% (20.5)	71社 54.2% (53.8)	24社 18.3% (19.7)	2社 1.5% (2.3)	131社	12社 9.2% (9.2)	21社 16.2% (15.4)	54社 41.5% (46.9)	27社 20.8% (18.5)	16社 12.3% (10.0)	130社
販売単価	1社 0.7% (0.7)	10社 7.4% (9.6)	111社 82.2% (79.4)	12社 8.9% (10.3)	1社 0.7% (0.0)	135社	47社 35.1% (34.6)	35社 26.1% (30.1)	39社 29.1% (27.1)	11社 8.2% (6.8)	2社 1.5% (1.5)	134社
収益状況 (粗利)	14社 10.1% (5.8)	20社 14.5% (12.4)	74社 53.6% (58.4)	25社 18.1% (20.4)	5社 3.6% (2.9)	138社	15社 11.0% (12.6)	17社 12.5% (14.8)	56社 41.2% (38.5)	30社 22.1% (23.7)	18社 13.2% (10.4)	136社
稼働率 (生産・ 加工設備)	6社 5.1% (6.0)	19社 16.1% (16.2)	70社 59.3% (54.7)	21社 17.8% (18.8)	2社 1.7% (4.3)	118社	10社 8.6% (10.3)	12社 10.3% (16.2)	60社 51.7% (46.2)	25社 21.6% (23.1)	9社 7.8% (4.3)	116社
入出庫の トラック台数	11社 8.5% (3.0)	18社 13.8% (14.4)	78社 60.0% (59.8)	20社 15.4% (19.7)	3社 2.3% (3.0)	130社	7社 5.4% (6.2)	13社 10.1% (17.7)	72社 55.8% (49.2)	27社 20.9% (20.8)	10社 7.8% (6.2)	129社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (0.0)	8社 6.0% (7.5)	72社 54.1% (50.7)	39社 29.3% (31.3)	14社 10.5% (10.4)	133社	0社 0.0% (0.0)	19社 14.5% (14.3)	94社 71.8% (63.9)	13社 9.9% (18.0)	5社 3.8% (3.8)	131社
特記事項												

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

## 景況実感調査(2023年3月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 3月は稼働日が多かったので増加したが、日当たりとしては横這いであった。堅調であった業種も落ち着きを見せており、全般的に盛り上がり欠ける。薄板市況は海外オファーの大幅値上げにより、底堅く推移するものと思われる。
- ② 4～6月は軟調だが、好調な先の産機、建機を中心に営業して数字を作っていく。与信に関しては今一度アンテナを張って万全に管理していく
- ③ 稼働日 25日。例年であれば年度末も絡み前月よりは良いはずだったが前月割れ。売上、加工ともに落ちる結果となった。市況はじりじりと下がっており早速、価格改定(自動車)の話が聞こえてきている。市況への影響が出ないとよいが。
- ④ 3月の販売量は前月に比べて稼働日が3日多かったために+14%であったが、前年同月比では▲6%。日当たりの販売量は前月比▲1.5と更に落ちている。この低調さは4～6月も続きそうであり、粗利がどんどん落ちてきているので、収益としてはかなり厳しい状況が続くことになる。
- ⑤ 受注は2月に比べて多少多いが、4月の受注が減少しており、5月の連休前に得意先との打ち合わせをして、受注量を増やすよう営業努力をするしかない。

### 中板

- ① 3月も売上、加工数量ともに前年同月比で2桁%以上の減少となって、7カ月連続の減少である。3月度としての販売は、コロナ禍で最低であった2020年に次ぐ低い結果で、需要の低迷の長期化が懸念される。2月末の薄板三品在庫も423万トンと減少してはいるものの、店売りマーケットの狭隘化が進んでおり、三品在庫全体の中に市況に影響を及ぼす店売り在庫が占める比率は更に低くなっているだけに、400万トンを大きく下回らない限り市況の上昇は望めない。一方、現状の在庫単価は高止まり状態で当然、採算は厳しい状況が続いていることをメーカー及び商社はよく認識願いたい。
- ② 建築需要が低迷している中、価格転嫁を進めていかなければならない。粘り強く交渉していくしかない。
- ③ 今月は年度末で受注増を期待するが、動きは悪い。価格はジリ安感があるが、ここが底と思われる。東京製鐵の4月売り出し価格は、鋼板に関しては据え置きとなり、市中に目立った動きなし。東京製鐵に切り替えをした先も多く、入荷遅れの影響もあり歯抜けも聞かれていたが、足下は材料が入荷され品薄感は解消されると思う。

## 厚板

- ① 建設機械向けは引き続き好調を維持。鋼材価格の高騰で、案件の延期や中止などにより出荷量も減少傾向にあったが、年度末ということもあり、新規の案件がたまたま入り込んで数量も伸びた。
- ② <全体感>厚板を扱う各分野においては全体的に低調。首都圏の大型再開発案件に動きはあるものの、人手不足等で工期遅れが目立ち、中小物件は依然として低迷。製鉄メーカーの供給は足下ではタイト感はないものの、2023年には各メーカーとも生産設備集約や大規模改修が予定されており、第3四半期に向けてメーカーからの供給がタイトとなってくることが予想される。<分野別>建機分野では、北米の住宅着工件数の減少や、ウクライナ危機、インフレの影響で生産調整局面を迎えているが、東南アジア市場やマイニング機械は底堅い需要がある。産機分野は工作機械受注金額が2ヵ月連続で前年割れしており、外需を中心に先行きに不透明感あり。店売り分野は、期待した年度末の盛り上がりもなく、もう一段の価格転嫁が進まない状況。

## 一般開金鋼

- ① 前月比、営業日は3日増につき、諸調査項目は伸びるも、実態は横這い。来月は連休も控え、同業者間の競合も激しく、メーカーの値上げ意向が通せるか心配だ。
- ② 資材コスト高で計画の先送りや変更が増えている。

## H形開金鋼

- ① メーカー値上げ分を確実に転嫁すべく販売価格を改定した。高唱えの姿勢を崩さないうで継続していく。
- ② 喫緊の課題であったH形鋼エキストラ改定のマーケットへの転嫁は、在庫店の皆さまの努力により概ね反映できたと思われる。しかし、一部ユーザーには及び腰な姿勢が見受けられる。続いてベース値上げが確定した状況の中で、悩んでいる場合ではなく、エキストラ反映の完遂と各品種のベース転嫁に早急に取り組むべきである。

## 異形棒鋼

- ① 相変わらず全体的に荷動き、需要は低調。少ない需要をめぐって客先に寄り添った価格提示が散見され始めてきた。安値に引っ張られつつあるが堅守したいところである。
- ② 年度末だが店売り需要は低調で、回復の兆しは見えない。スクラップ市況下落の中メーカーは値上げを実行したため、流通としては4月より在庫販価の見直し、値上げを実施している。

## 平鋼

- ① 3月は、4月契約でメーカーが値上げしてくるのを見越して多少の仮需は入ったが、全体的には稼働日数分売上が増えただけだった。建築関係は3月中旬より予定していた案件が動き出したので、2月よりは忙しい。4月契約でメーカーが値上げを発表したので、価格転嫁を進めていく。
- ② 3月は先月に比べるとやや回復したが、前年に比べるとまだまだ悪い状況。製造業も建築関係も荷動きに大きな変化はないが、メーカーの値上げが発表され値上げムードになってきた。実需が少ないためあまり期待はできないが、仮需は出て来るのではないかと。

## 車量用鋼

- ① 先月より大幅受注減で、工程に苦慮している状況。今後あまり回復の見込みなし。
- ② 店売りがかなり低調な状況。建築の中小物件も少ないため、この先も苦しい状況が続くと思われる。

## 鋼管

- ① 売上数量、売上高共に前月比及び前年比減少となった。市況は横這いを維持しているが、サイズ等によりバラツキが出ている。
- ② 3月決算期末で出荷(倉出し、メーカー直送)が期待されたが、見通しを下回る実績に終わった。全体的に、仲間(問屋向け)・直需共に荷動きが悪い。4~6月も配管機材業界は不需要期につき、大きな期待はできない。

## 構造用鋼

- ① 需要については、自動車の生産回復が遅れている。建機は、マイニング大型は堅調も汎用タイプは一服状態。全般的に調整局面。店売りの荷動きはここしばらく低位横這い。紐付きは業種により濃淡あり。在庫はメーカー納期が通常で、多めで推移。価格はメーカーの販売姿勢が強く、当面は再販も価格重視を継続。

## 磨棒鋼

- ① 自動車向け紐付き品の動向は、昨年と比べて更に悪化してきており、底が見えない状況。5月以降に生産が戻るとの噂もあるが、信憑性は低い模様。建機向けは堅調に推移しているが、これ以上の増加は見込めそうもない。店売りは低位安定も、月を追うごとに微減してきている。業界では+5円/kgの加工賃改定も要請し始めている。

## その他

### <敷板リース>

- ① 敷板リースは年度末ということもあり、かなり在庫が増えている。一方、出庫の方は弱まっているのが現状。

### <鉄スクラップ>

- ① 年度末なので荷動きは少し回復するかとの期待はあったが、依然として低調な状況が続いている。海外市況も弱く、国内メーカーにも積極的なスクラップ購入意欲が感じられない。4月はGWを前に各メーカーの集荷状況により市況が強含む可能性もあるが、国内、海外の動向を見ながら慎重な判断が必要。

### <金属表面処理>

- ① 3月は、2月と同様に紐付き&スポット共に好調だった。足下は引き合い低調であるが、先々に大型案件を控えているので問題ないと思う。仕入れ高の局面は続き、今月は塗料の値上げを実施された。